



参考資料

米国バクスター社、米国保健社会福祉省委託研究の細胞ベースワクチンの開発に参加

米国イリノイ州ディアフィールド、2006年5月4日ーバクスターインターナショナルインク(NYSE:BAX、以下、バクスター社)は、米国政府がDVC LLC, a Computer Sciences Corporation Company(以下、DVC社)に委託した培養細胞ベースのインフルエンザワクチンの開発に協力することを本日発表した。

バクスター社は、自社のベロ細胞技術を用いて、季節性(または準汎発性)及び汎発性インフルエンザワクチンを開発する。孵化鶏卵を用いる従来のワクチン製造法に比べ、ベロ細胞技術は、製造期間を著しく短縮する可能性がある。バクスター社による開発は、季節性インフルエンザワクチンのライセンス取得及び汎発性インフルエンザワクチンの臨床試験の終了までをサポートする。DVC社は、5年間の開発期間中、臨床試験を含めプロジェクト全体を管理する。これらの季節性及び汎発性インフルエンザワクチンが米国食品医薬品局(FDA)に承認された場合、バクスター社が米国市場における製品ライセンスを保有する。

バクスター社は、チェコ共和国にある同社の製造施設で当該ワクチンを製造する。本合意により、資金提供される4,097万ドルのうち相当な額が汎発性及び季節性インフルエンザワクチンの開発に投入される。

「米国政府が、この重要な計画の実施をDVC社とバクスター社に委任したことを大変喜ばしく思う」と、バクスター社バイスプレジデント兼バイオサイエンス事業部長のジョイ アマンドソン氏は言う。「バクスター社のワクチン技術及び生産能力と政府のワクチン開発計画に係るDVC社の経験のコンビネーションにより、この重要な計画を遂行するのに相応しい経験豊富なチームができる」と語る。

従来の鶏卵ベースの製造法に比べ、細胞ベースのワクチン製造は、多くの利点が期待される。バクスター社のベロ細胞技術は、動物由来の血清を添加することなく、インフルエンザウイルスを大量に培養することが可能である。同社は、研究開発を通じ、ベロ細胞に野生株ウイルスを培養することに成功している。これにより、通常の鶏卵を用いたワクチン製造のように、高成長または弱毒化ウイルスの再集合を待たずに、ワクチン製造を開始することが可能になる。

「大流行の恐れは現実的なものだ。H5N1型鳥インフルエンザが新たな地域に発生していることから、各国政府は警戒している」と、聖バーソロミュー病院及びクイーンメアリー医科歯科大学ロイヤルロンドン病院のウイルス学教授であるジョン オックスフォード氏は言う。「季節性及び汎発性インフルエンザワクチンの製造にバクスター社のベロ細胞技術が応用されることは、歓迎すべき躍進だ」と語る。

バクスター社は、米国国立衛生研究所(NIH)に属する国立アレルギー・感染症研究所(NIAID)と協力し、培養細胞ベースのH5N1型汎発性インフルエンザワクチンを開発している。米国での臨床試験に向け、同社はワクチンをNIAIDに提供する。臨床試験は、2006年に開始される予定である。さらにバクスター社は、複数国の政府と汎発性インフルエンザワクチンについて協議中であり、先般、英国政府へのH5N1型ワクチン200万回投与分の供給を請け負っている。

バクスター社は近年、各国政府と提携し、バイオテロや感染症に対するワクチンやその他の治療法の製造開発を行っている。同社はAcambis社と提携し、ベロ細胞ベースの天然痘ワクチンの備蓄を米国政府及びその他12カ国へ提供している。また2003年秋に同社は、NIHによる第1/II相試験に向け、重症急性呼吸症候群(SARS)に対する不活性化コロナウイルスワクチンの製造開発をNIAIDより請け負っている。2005年には、DVC社と提携し、神経ガスを浴びた個人を対象とした血漿ベースの治療剤の開発も委託されている。

バクスターインターナショナル社及びその子会社は、血友病や免疫障害、癌、感染症、腎疾患、外傷などの治療が困難な傷病に対する治療法を提供し、医療関係者や患者を支援している。同社は、医療機

器及び医薬品、バイオテクノロジーに係る専門技術を活用し、医療に新たな価値を創造する。

This release includes forward-looking statements concerning the company's vaccine products, including with respect to clinical trials, licensures, and the advantages of the vaccine products. The statements are based on assumptions about many important factors, including the following, which could cause actual results to differ materially from those in the forward-looking statements: satisfaction of regulatory and other requirements for timely commencement of additional clinical trials; additional clinical results demonstrating the safety and efficacy of the products; market acceptance of vaccines developed with vero-cell technology relative to egg-based or other alternatives; continued public commitment to addressing avian flu and other pandemic threats; and other risks identified in the company's most recent filing on Form 10-K and other SEC filings, all of which are available on the company's web site. The company does not undertake to update its forward-looking statements.

本件に関するお問合せ先：

バクスター(株) 広報部
池田純子 03 6204 3680 または 03 6204 3662